

毛呂山中だより

第 7 号

令和5年9月20日

学校教育目標 「夢をもち世界にはばたく毛呂山のこども
自ら学び 共感し 行動できる生徒」

〒350-0465 入間郡毛呂山町岩井西4-12-1 TEL049-294-0019

<天災は忘れた頃にやってくる>

校長 上原 英樹

今年、1923年（大正12年）に発生した関東大震災から、100年の節目に当たります。関東大震災は、近代日本の首都圏に未曾有の被害をもたらした、我が国の災害史において特筆すべき災害です。2014年に政府が今後30年間のうちに首都圏大震災が発生する可能性は70%以上と発表をしています。これは、大震災がいつ発生してもおかしくない状況が続いているとも言えます。本校では8月30日（水）に防災体験ならびに避難訓練を実施しました。起震車体験、水消火器訓練、煙避難体験をグループに分かれて生徒に体験してもらいました。普段経験できない体験に生徒はとても意欲的に取り組んでいました。また、9月10日（日）には本校を会場に毛呂山町防災訓練が3年ぶりに実施されました。町役場、自衛隊、消防、埼玉医科大学を中心に地域住民も多数参加して大規模な防災訓練となりました。私も初見学させていただきましたが、地域住民の皆様の防災への意識の高さにとても感心しました。実際に大震災が起こった場合は、中学生の力も大いに役立つと思われます。毛呂山中では今後も生徒の防災意識を高める取組を推進して参ります。



避難訓練の様子



起震車体験



水消火器体験



煙避難体験